指定管理業務評価表

施設名	小牧市第1老人福祉センター(野口の郷)		
対象年度	元年度 評価担当部 福祉部		福祉部
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員5人、非常	常勤職員8人	

1. 利用実績

(1) 利用者数 計81,662人(前年度比 約 121%)

前年度利用者数 67,409 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7,302 人	6,566人	7,440 人	8,226人	7,739 人	7,716人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7,364 人	7,551 人	7,172人	7,236 人	7,350人	0人

※ 休館期間: 平成30年度については、改築工事に伴う新施設への移転により、平 成30年9月1日から9月30日までを休館。

> 令和元年度については、新型コロナウイルスの影響により、令和元年 2月29日から3月31日までを休館。

(2) 增減要因

年間の延べ利用者数は、30年度と比較して14,253名増となった。新施設が全面オープンとなり施設の美観、駐車場の整備、巡回バス施設内乗り入れ等の利便性向上、トレーニング機器等増設による機能の充実等により増加となった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和元年9月2日~9月7日	回答数	507枚
	令和2年2月26日~2月28日		246枚
利用者の	楽しく過ごす事ができ、ありがたい	١٠	
主な意見	・職員皆様の笑顔の対応が素晴らしく、感謝しています。		
具体的な	今後もより楽しく過ごして頂けるよ	う、企画1	行事等考えていきます。
対応状況	・利用者皆様の状態に気を配り、声挂	けを継続	していきます。

3. 収支の実績 (単位:円)

		30 年度	元年度	2 年度	備考
		(前年決算額)	(現年決算額)	(翌年予算額)	(主な内訳、増減要因)
収	指定管理料	55,169,960	59,100,000	63,000,000	
入	事業収入	18,622	28,952	0	
	合計	55,188,582	59,128,952	63,000,000	
支	人件費	27,274,264	28,743,777	29,089,000	
出	報償費	1,526,530	1,518,387	1,731,000	
	旅費	71,305	48,985	60,000	交通費
	需用費	8,938,679	8,941,014	9,927,000	消耗品費•水光熱費等
	役務費	426,036	425,197	501,000	通信運搬費•手数料等
	委託料	12,878,958	14,136,181	15,056,000	送迎費•保守管理費等
	その他	4,054,188	5,286,459	6,636,000	借上料•保険料等
	合計	55,169,960	59,100,000	63,000,000	

4. 評価

項目	市の評価		
	・市内の高齢者が、健康の増進、教養の向上、レクリエーション、各種相談		
	の場として、施設を利用できるように、入浴、運動機能回復訓練、文化教室、		
運営業務	健康(生活)相談等のサービスを提供している。		
连	・足湯が好評頂いている。		
	• 野口の郷だよりを発行し、施設の周知をするとともに運営に対する理解を		
	深めていただくことができている。		
	・施設内及び周辺の草刈りを適宜行い、施設の適正な管理に努めている。		
	・施設・設備の点検を確実に行うとともに、報告書を作成して、関係各機関		
) 維持管理業務	へ提出している。		
》	・設備の適切な衛生維持管理が出来ている。		
	・機器や備品の取扱説明書は棚に設置されており、トラブル時には、すぐに		
	確認できるように整理されている。		
	・篠岡保育園児を迎え、お遊戯の発表会等を行い、多世代交流会が出来てい		
自主事業	る。		
	・室内での講座・教室を開催するとともに、屋外でのハイキング(ふれあい		
	の森、四季の森)を実施するなど健康維持の推進に努めている。		
	・利用者アンケートや日常における利用者の意見などにより、ニーズを把握		
サービスの質	し、サービスの質の向上に努めることができており、利用者アンケートでは		
	「楽しく過ごす事ができ、ありがたい。」「職員皆様の笑顔の対応が素晴ら		

	しく、感謝しています。」との回答を多数得ている。
収支状況及び	適切に管理し節電に取り組んでいる。
経費節減	
	• 監視カメラ等にて安全対策が行われている。非常時の行動マニュアルも作
	成され、避難訓練が年2回行われている(1回はコロナのため職員のみで実
	施)。
その他	・非常時の連絡網も作成されており、共有するとともに、スタッフがすぐに
(緊急時の対	確認できるよう掲示されている。
応等)	・福祉避難所訓練を実施し、大規模災害における課題の洗い出しが出来てい
	వ .
	・コロナの感染防止対策(職員のマスクの着用、アルコールによる消毒の徹
	底、定期的な空気の入替等)が実施されている。